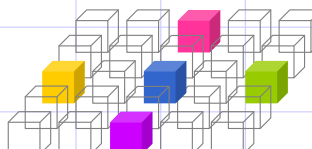


1 連結業績について

1)連結業績概要	…P. 2
2)売上高の変動要因	…P. 3
3)営業利益の変動要因	…P. 4
4)セグメント別売上高・営業利益	…P. 5
5)地域別売上高	…P. 11
6)設備投資他	…P. 12
7)損益計算書・包括利益計算書	…P. 13

2 2012年3月期 業績予想

1)2012年3月期 業績予想	…P. 14
2)セグメント別売上高・営業利益	…P. 15



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。
 当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動などの
 リスクや不確実性を含んでおります。
 従いまして、投資判断を決定する場合には、本資料の将来の見通しのみを依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げ
 ます。
 また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、
 事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。

1 連結業績について		連結業績概要 前期比		GLORY
売上高	遊技市場は低調であったものの、海外市場、その他が好調に推移したことにより、全体では前年同期並みで推移。			
利益	開発効率や生産性の向上、海外生産・海外調達等のコストダウン施策の推進により、営業利益・経常利益・当期純利益ともに前期に比べ増加。			
(百万円)	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	前期比	
売上高	30,399	29,989	▲1.2%	
うち 保守売上高	7,879 (25.9%)	8,292 (27.7%)	+5.2%	
営業利益	1,123 (3.7%)	1,306 (4.4%)	+16.3%	
経常利益	1,160 (3.8%)	1,588 (5.3%)	+36.9%	
四半期純利益	456 (1.5%)	768 (2.6%)	+68.6%	

2

2012年3月期 第1四半期の「連結業績」について

当第1四半期は、前年同期と比べ減収増益。

【売上高】

前年同期に比べ1.2%減少。

金融市場、流通・交通市場、遊技市場が前年同期に比べ減少。

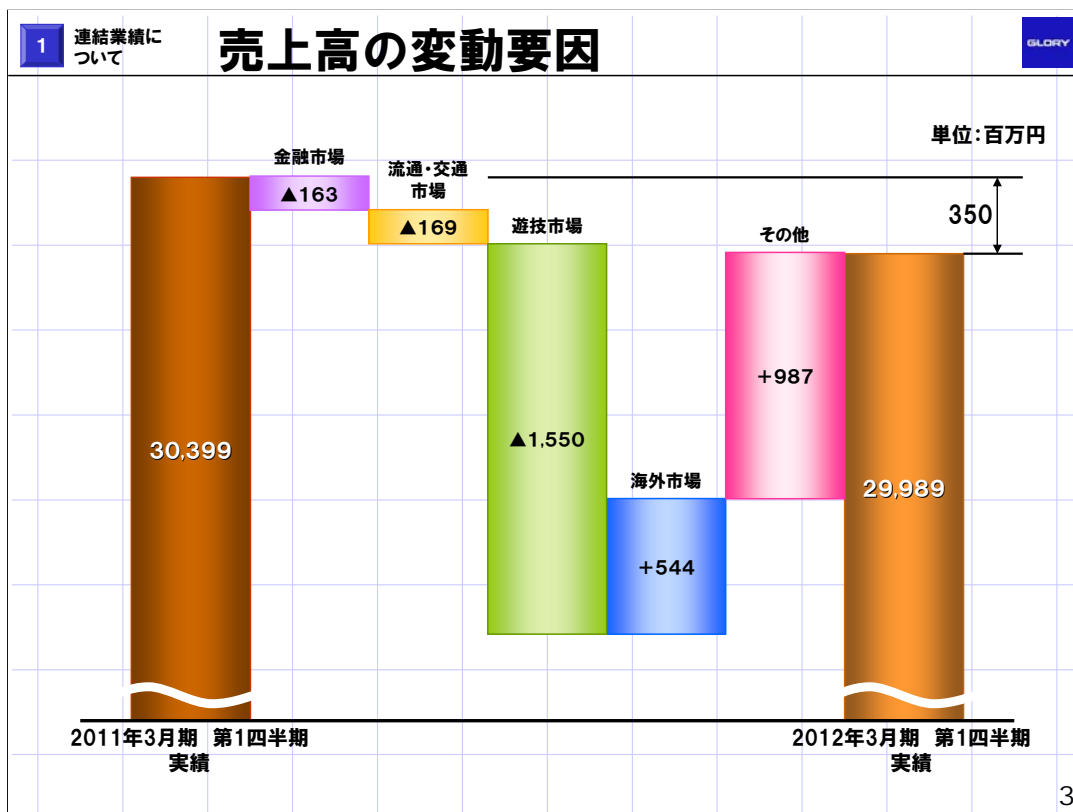
海外市場、その他が堅調に推移。

【利益】

営業利益は製造原価の低減により、前年同期に比べ16.3%増加。

経常利益は為替差損が減少したことから、前年同期に比べ36.9%増加。

四半期純利益は、前期に発生したグループ会社の合併にともなう退職給付費用等がなくなったことから、前年同期に比べ68.6%増加。



前期と当期の「売上高の変動要因」について

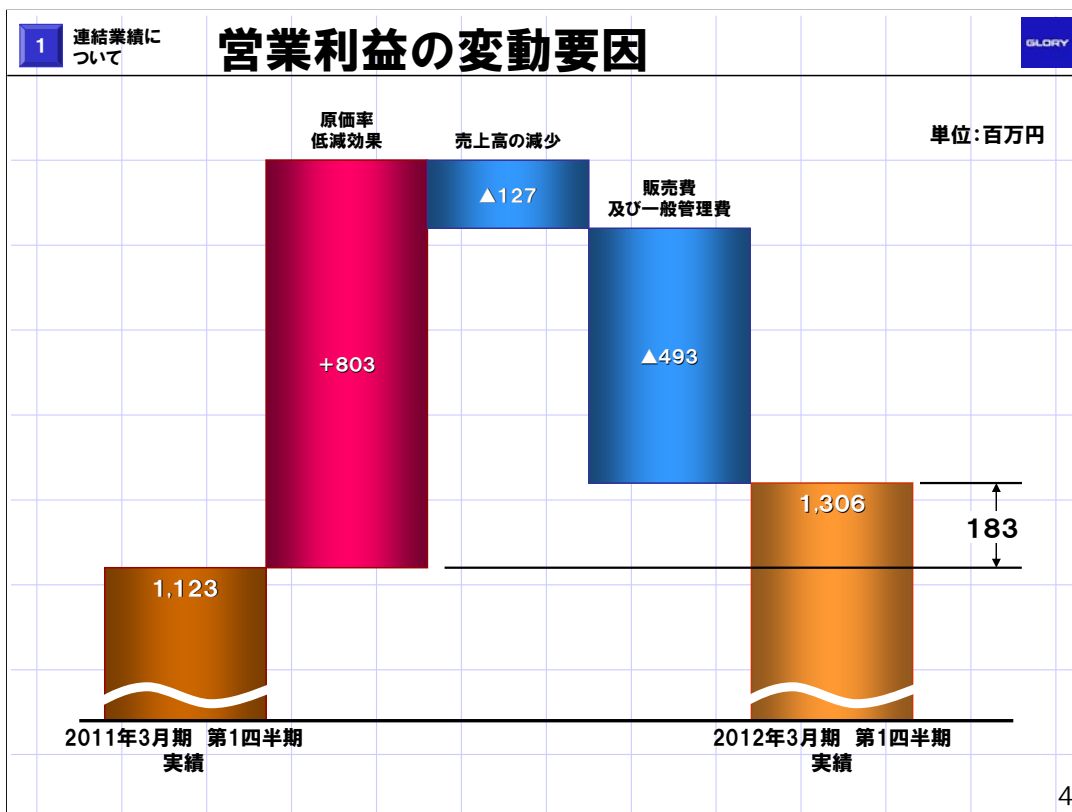
当第1四半期は前年同期に比べ3億5,000万円の減収。

【売上高が減少したセグメント】

金融市場・・・前年同期比マイナス1億6,300万円、
 流通・交通市場・・・前年同期比マイナス1億6,900万円、
 遊技市場・・・前年同期比マイナス15億5,000万円。

【売上高が増加したセグメント】

海外市場・・・前年同期比プラス5億4,400万円、
 その他・・・前年同期比プラス9億8,700万円。



前期と当期の「営業利益の変動要因」について

当第1四半期は、前年同期と比べ1億8,300万円の増益。

[主な増加要因]

原価率低減の効果が8億300万円。

[主な減少要因]

売上高の減少による影響が1億2,700万円、
販管費の増加による影響が4億9,300万円。

(単位:百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	前年同期比	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	前年同期比
金融市場	8,634	8,471	▲163 (▲1.9%)	417	342	▲76 (▲18.0%)
流通・交通 市場	6,005	5,836	▲169 (▲2.8%)	486	736	+250 (+51.4%)
遊技市場	6,147	4,597	▲1,550 (▲25.2%)	102	▲251	▲353 (▲346.1%)
海外市場	7,235	7,779	+544 (+7.5%)	393	502	+109 (+27.7%)
その他	2,317	3,304	+987 (+42.6%)	▲276	▲23	+253 (+91.7%)
合計	30,339	29,989	▲350 (▲1.2%)	1,123	1,306	+183 (+16.3%)

5




「セグメント別の業績」について

[セグメント別売上高]

前年同期と比べ、金融市場、流通・交通市場、遊技市場でマイナス、海外市場、その他はプラス。

[セグメント別営業利益]

金融市場、遊技市場が前年同期と比べマイナス、流通・交通市場、海外市場、その他がプラス。




1 連結業績について		金融市場		GLORY	
<p>●主要製品の販売が堅調</p> <p>主要製品であるオープン出納システムの販売は、従来タイプ及び中小規模店舗向けのコンパクトタイプともに堅調に推移したものの、市場全体としては前年同期並みの販売で推移。</p>		(単位:百万円)			
		2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	前期比	
<p>セグメントの概要</p> <p>国内の金融機関、日本郵政、OEM先等への販売・保守</p>		売上高 8,643	8,471	▲163 (▲1.9%)	
<p>主要製品</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>オープン出納システム WAVEシリーズ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>窓口用入出金 システムのユニット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自動積入金パス BWシリーズ</p> </div> </div>		構成比率 28.5%	28.2%	▲0.3%	
		営業利益 417	342	▲75 (▲18.0%)	
		構成比率 37.1%	26.2%	▲10.9%	
		営業利益率 4.8%	4.0%	▲0.8%	

「金融市場」について

主要製品であるオープン出納システムの販売は、
 現行機、コンパクト機の販売が共に堅調に推移し、
 前年同期比プラス16%と堅調に推移。

OEM商品である窓口用入出金システムの販売も前年同期並みで推移したが、
 市場全体としては前年同期並みの販売で推移。

売上高は前年同期比マイナス1.9%の84億7,100万円、
 営業利益は、前年同期比マイナス18.0%の3億4,200万円。

1 連結業績について		流通・交通市場		GLORY	
<p>●レジつり銭機の販売が堅調</p> <p>レジつり銭機の販売は順調に推移したものの、OEM商品である店舗入金機の販売が低調であり、市場全体としては前年同期並みで推移。営業利益は、レジつり銭機の海外生産によるコストダウン効果もあり増加。</p> <p>セグメントの概要</p> <p>国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社等への販売・保守</p> <p>主要製品</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>レジつり銭機 RT/RADシリーズ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小型入金機 DS・DSSシリーズ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>現金入出金機 DSRシリーズ</p> </div> </div>		(単位:百万円)			
		2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	前期比	
売上高		6,005	5,836	▲169 (▲2.8%)	
構成比率		19.8%	19.5%	▲0.3%	
営業利益		486	736	+250 (+51.4%)	
構成比率		42.3%	56.3%	+13.0%	
営業利益率		8.1%	12.6%	+4.5%	

「流通・交通市場」について

主要製品であるレジつり銭機の販売は、前年同期比プラス8%と順調に推移。OEM商品である店舗入出金機の販売は低調であり、市場全体としては前年同期並みの販売で推移。営業利益は、レジつり銭機の海外生産によるコストダウン効果もあり増加。

売上高は前年同期比マイナス2.8%の58億3,600万円、営業利益は、前年同期比プラス51.4%の7億3,600万円。

●カードシステムの販売が低調

主要製品であるカードシステム等の販売は、震災の影響に伴う設備投資抑制意欲の減退と新店・改装の自粛により、低調に推移。

セグメントの概要

国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

主要製品

カードシステム



管理ターミナル

カードユニット

カード精算機



景品保管機 JKシリーズ



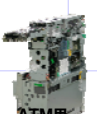
(単位:百万円)

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	前期比
売上高	6,147	4,597	▲1,550 (▲25.2%)
構成比率	20.3%	15.3%	▲5.0%
営業利益	102	▲251	▲353 (▲346.1%)
構成比率	9.1%	▲19.3%	▲28.4%
営業利益率	1.7%	—	—

「遊技市場」について

主要製品であるカードシステム等の販売は、震災の影響に伴う設備投資意欲の減退と新店・改装の自粛により、低調に推移。

売上高は前年同期比マイナス25.2%の45億9,700万円、2億5,100万円の営業損失。

1 連結業績について		海外市場		GLORY	
(単位:百万円)					
●紙幣整理機や新製品の販売が好調					
<p>OEM商品であるATM用ユニットの販売が順調に推移。アジアでは、インドにおける市場の拡大に伴い、紙幣整理機の販売が好調。欧州では、イタリアの販売子会社が業績に寄与したものの、ATM用ユニットが低調。</p>					
セグメントの概要					
海外の金融機関、警備輸送会社、カジノ、OEM先等への販売・保守					
主要製品					
 紙幣入出金機 RZシリーズ		 紙幣整理機 UW-USFシリーズ		 ATM用紙幣入金ユニット UDシリーズ	
売上高	7,235	7,779	+544 (+7.5%)		
構成比率	23.8%	25.9%	+2.1%		
営業利益	393	502	+109 (+27.7%)		
構成比率	35.0%	38.4%	+3.4%		
営業利益率	5.4%	6.5%	+1.1%		

「海外市場」について

OEM商品の米国向けATM用紙幣・小切手入金ユニットの販売は好調。また、アジアでは、インドにおける市場の拡大に伴い、紙幣整理機の販売が好調。欧州では、イタリアの販売子会社であるシトラーデ社の業績が寄与したものの、OEM商品であるATM用紙幣入金ユニットの販売が低調に推移。

売上高は前年同期比プラス7.5%の77億7,900万円、営業利益は、前年同期比プラス27.7%の5億200万円。

●主要製品の販売が好調

(単位:百万円)

OEM商品である公営競馬場向け当選金払出ユニットの販売が順調に推移。

セグメントの概要

国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、企業等への販売・保守

主要製品



公営競技市場向け
当選金払出ユニット
RBKシリーズ



印刷式同時券売機
VPSシリーズ



社員食堂向け
オートレジスター
PSAシリーズ

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	前期比
売上高	2,317	3,304	+987 (+42.6%)
構成比率	7.6%	11.0%	+3.4%
営業利益	▲276	▲23	+253 (+91.7%)
構成比率	▲24.6%	▲1.8%	+22.8%
営業利益率	—	—	—

「その他」について

OEM商品である公営競馬場向け当選金払出ユニットの販売が順調に推移。

売上高は前年同期比プラス42.6%の33億400万円、
2,300万円の営業損失。

(単位:百万円)

海外 地域別売上高	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	差異
米州	1,265	2,069	+804
欧州	4,395	3,949	▲446
アジア	1,583	1,760	+177
内中国	769	466	▲303
合計	7,235	7,779	+544
内OEM	3,030	2,438	▲682

11

海外「地域別売上高」について

[米州]

OEM商品のATM用紙幣・小切手入金ユニットの販売が業績を牽引。

[欧州]

前期に大口受注のあった流通市場向けOEM商品の影響を受け、前期同期比ではマイナスで推移。

[アジア]

インド及びインドネシアにおける紙幣整理機の販売がコンスタントに拡大し、前年同期比ではプラスで推移。

中国は今期も下期の売上高比率が高くなることを予想。

設備投資他

(単位:百万円)

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	前年同期比	四半期毎の推移										
設備投資額	1,688	1,187	▲300 ▲4.5%	<table border="1"> <tr> <td>FY10 (1Q)</td> <td>FY10 (2Q)</td> <td>FY10 (3Q)</td> <td>FY10 (4Q)</td> <td>FY11 (1Q)</td> </tr> <tr> <td>1,688</td> <td>1,672</td> <td>1,323</td> <td>1,730</td> <td>1,187</td> </tr> </table>	FY10 (1Q)	FY10 (2Q)	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)	1,688	1,672	1,323	1,730	1,187
FY10 (1Q)	FY10 (2Q)	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)										
1,688	1,672	1,323	1,730	1,187										
減価償却費	1,598	1,555	▲1,427 ▲17.5%	<table border="1"> <tr> <td>FY10 (1Q)</td> <td>FY10 (2Q)</td> <td>FY10 (3Q)</td> <td>FY10 (4Q)</td> <td>FY11 (1Q)</td> </tr> <tr> <td>1,598</td> <td>1,582</td> <td>1,728</td> <td>1,809</td> <td>1,555</td> </tr> </table>	FY10 (1Q)	FY10 (2Q)	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)	1,598	1,582	1,728	1,809	1,555
FY10 (1Q)	FY10 (2Q)	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)										
1,598	1,582	1,728	1,809	1,555										
研究開発投資額	1,901	2,354	▲97 ▲1.1%	<table border="1"> <tr> <td>FY10 (1Q)</td> <td>FY10 (2Q)</td> <td>FY10 (3Q)</td> <td>FY10 (4Q)</td> <td>FY11 (1Q)</td> </tr> <tr> <td>1,901</td> <td>2,250</td> <td>2,155</td> <td>2,372</td> <td>2,354</td> </tr> </table>	FY10 (1Q)	FY10 (2Q)	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)	1,901	2,250	2,155	2,372	2,354
FY10 (1Q)	FY10 (2Q)	FY10 (3Q)	FY10 (4Q)	FY11 (1Q)										
1,901	2,250	2,155	2,372	2,354										

「設備投資など」について

設備投資額は、11億8,700万円、
減価償却費は、15億5,500万円、
研究開発投資額は、23億5,400万円で推移。

(単位:百万円)

(百万円)	2011年3月期 第1四半期	百分比 (%)	2012年3月期 第1四半期	百分比 (%)	増減
売上高	30,339	100.0	29,989	100.0	▲350
売上原価	19,304	63.6	18,279	61.0	▲1,025
販管費	9,911	32.7	10,404	34.7	+493
営業利益	1,123	3.7	1,306	4.4	+183
営業外収益	514	1.7	414	1.4	▲100
営業外費用	477	1.6	131	0.4	▲346
経常利益	1,160	3.8	1,588	5.3	+428
特別利益	138	0.5	25	0.1	▲113
特別損失	353	1.2	88	0.3	▲265
税金等調整前 四半期純利益	944	3.1	1,524	5.1	+580
法人税等合計	488	0.4	643	2.1	+155
四半期純利益	456	1.5	768	2.6	+312
少数株主損益調整前 四半期純利益	-	-	881	2.9	-
その他包括利益合計	-	-	434	1.4	-
包括利益	-	-	1,316	4.4	-

①売上原価率:コスト削減活動の成果等により2.6%低減。

②営業外損益:為替差損(53百万円)などが発生。(前年同期は為替差損(405百万円)を計上)

13

「連結損益計算書」について

売上原価率は、構造改革の成果等により前年同期比で2.6%改善。
 販管費率は、前年同期比でプラス2.0%に留まる。
 その結果、営業利益は前年同期比プラス16.3%の13億600万円。

営業外損益は、為替差損は前年同期から大きく減少したものの
 5,300万円を計上。
 その結果、経常利益は前年同期比プラス36.9%の15億8,800万円。

特別損益は、前年同期には減損損失や退職給付費用を計上したが、
 今期は主だったものもなく、
 その結果、税前当期純利益は15億2,400万円となり、法人税等を差引き、
 四半期純利益は前年同期比プラス68.4%の7億6,800万円。

包括利益は、少数株主損益調整前当期純利益8億8,100万円に、
 その他の包括利益4億3,400万円を合わせて、13億1,600万円。

売上高 新製品による市場の深掘りが進み、前年同期から増加。

利益 売上高拡大とコストダウン策の推進効果により、前年同期に比べ増加。

(百万円)	第1四半期 実績	第2四半期 累計期間 予想	通期 予想
売上高	29,989	65,000	145,000
うち 保守売上高	8,292 (27.7%)	16,000 (24.6%)	32,000 (22.1%)
営業利益	1,306 (4.4%)	2,500 (3.8%)	11,000 (7.6%)
経常利益	1,558 (5.3%)	2,500 (3.8%)	11,000 (7.6%)
当期純利益	768 (2.6%)	1,500 (2.3%)	6,500 (4.5%)

※為替レート [ドル]85円 [ユーロ]110円

2012年3月期の業績予想について

5月20日に公表した予想値から変更なし。

売上高は前年同期比プラス4.3%の1,450億円、
営業利益は前年同期比プラス6.6%の110億円、
経常利益は前年同期比マイナス0.3%の110億円、
当期純利益は前年同期比プラス4.4%の65億円を予想。

業績予想の為替前提レートは、1ドルを85円、1ユーロを110円で適用。

(百万円)	2012年3月期(平成24年3月期)					
	第1四半期 実績		第2四半期累計期間 予想		通期 予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
金融市場	8,471	342	21,000	800	47,000	4,700
流通・交通市場	5,836	736	13,000	1,300	30,000	3,900
遊技市場	4,597	▲251	9,000	▲400	20,000	200
海外市場	7,779	502	16,000	900	35,000	2,100
その他	3,304	▲23	6,000	▲100	13,000	100
合計	29,989	1,306	65,000	2,500	145,000	11,000

「セグメント別の売上高・営業利益の予想」について

売上高は、前回公表値から変更なし。

営業利益は、市場環境等を勘案して第2四半期累計期間の予想を修正。

金融市場・・・前回公表値からマイナス1億円の8億円、

流通・交通市場・・・前回公表値からプラス5億円の13億円、

遊技市場・・・前回公表値からマイナス5億円のマイナス4億円、

海外市場・・・前回公表値からプラス3億円の9億円、

その他・・・前回公表値からマイナス2億円のマイナス1億円。

下半期の営業利益は修正なし。